

ご存知ですか？ 1月17日は「防災とボランティアの日」

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、全国各地から大勢のボランティアが被災地に駆けつけ、避難所等での炊き出しや救援物資の配布、瓦礫の撤去や家屋の清掃等の多くの人手を要するものや、けが人や病人の手当等の専門性の高いものなど、様々な支援活動が行われました。このことが被災地の復興に向けた大きな力となったことから、災害ボランティア活動の重要性が広く認識されるようになりました。そして、平成7年12月、国民の皆さんが災害時におけるボランティア活動や地域の自主的な

防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実化を図ることを目的に、「**防災とボランティアの日(1月17日)**」及び「**防災とボランティア週間(1月15日~21日)**」が創設されました。

「防災とボランティア週間」には、全国各地において、行政機関や民間企業などがイベントや訓練、サービス提供など、住民の防災意識を高める活動を実施していますので、お住いの地域の催しに参加してみてもはいかがでしょうか。

〈防災士 荻野 勝也〉

